

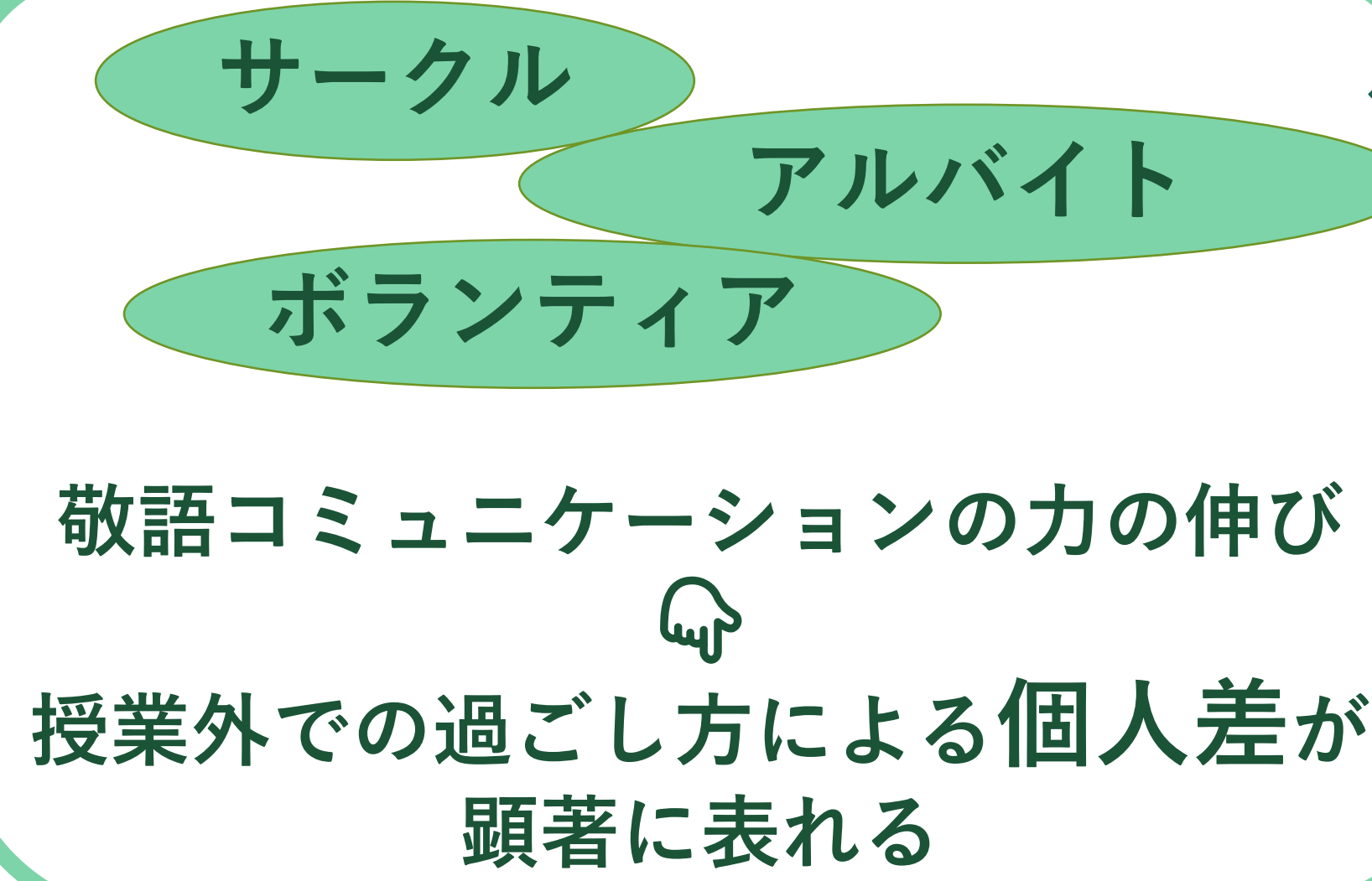
# 敬語フレーズを持ち寄る帯活動の実践

徳間 晴美(明治学院大学)

## 1. はじめに

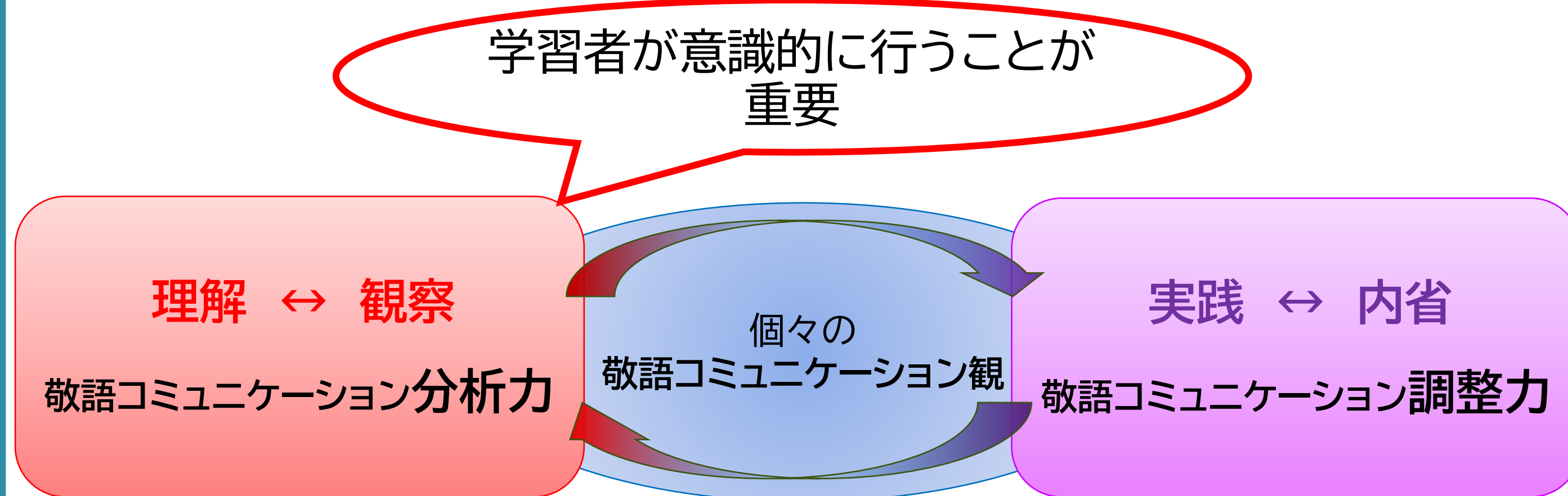
〈留学生の大学生活〉

- 1年次：  
➢ 大学生活や授業の受講の仕方に慣れる  
➢ 各科目の課題に取り組みながら  
アカデミック・ジャパニーズの力を身につける
- 2年次～3年次：  
➢ ゼミや卒業論文のテーマを検討する  
➢ 進路を決めて具体的な準備を進める
- 4年次：  
➢ 卒業や就職・進学に向けて活動する



## 2. 敬語コミュニケーションの学びの過程

### 2.1 敬語コミュニケーション分析力



※ 待遇コミュニケーションの学びの過程(徳間 2025)に基づいた考え方

### 2.2 「0レベル」から敬語を捉える思考過程

敬語コミュニケーションにおいても、「意図」を捉えることが非常に重要である

〈意図を理解するステップ〉

0レベルで理解する

場面に応じてなされている配慮(高くする、あらたまるなど)を理解し受け止める

「～てください」以外の尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ(丁寧語)を使わず、「です」「ます」「～てください」が使われる文話レベル

例) お名前をお書きください。(＋1レベル)  
⇒ 名前を書いてください。(0レベル)

～ 本実践での活動 ～

敬語フレーズの0レベルを捉えてから敬語を分析する帯活動

## 3. 敬語フレーズを持ち寄る帯活動

### 活動のねらい

- ① 日常生活の中で目にしたり耳にしたりしている敬語フレーズをクラスで持ち寄り、**意識的に考えてみる**こと
- ② 敬語フレーズに関する理解を深めることで、コミュニケーションにおける**配慮や相手の意図を適切に受け止められる**ようになり、**自分の表現力を高めることにつなげる**こと

### 授業の流れ

[授業前]  
各週担当者がPadletに敬語フレーズを書き込む



[授業冒頭の活動時間]  
Padletの書き込み済み画面を印刷したプリント(メモスペース入り)配布

- ➡〈個人〉  
気づいたこと(動詞の主語が誰か/0レベルの文は正しいかなど)をメモする
- ➡〈母語が同じ留学生グループ2～3名〉確認/相談
- ➡〈クラス全体〉各グループで話題になった点/迷った点を共有  
→ 敬語に関する説明を補い理解を深める

科目 : ビジネス日本語を主に扱う科目(上級レベル、90分×15週)  
履修者 : 大学2年生～4年生、14名(母語:中国語14名、韓国語3名)  
活動実施週: 2025年度春学期 2週目～9週目

### Padlet 敬語フレーズ ✨持ち寄り箱 ✨ 見つけた! 聞いた! をシェアしよう

タイトル: 名前+書き込み回数

説明

敬語フレーズを一文入れて、**ハイライト**にする。  
いつ、どこで、誰が、誰に、何を伝えるフレーズだったかを書く。  
★0レベル(敬語ではない表現)を書き、**ハイライト**にする。  
間違えてもいいので、予想して書きましょう!

徳間①

サンプル

学生証はお持ちですか。  
いつ: お昼休み、どこで: 教務課窓口、誰が: 大学職員、誰に: 私(学生)、何を: 学生証を持っているかの確認  
★学生証は持っていますか。

## 4. 結果と考察

その場で本人に確認できる

段階的な思考過程が習得できる

- 1) 敬語フレーズをまず場面と結び付け、**0レベル**で意図を捉えた後、人間関係と配慮の方向を考えて敬語を分析することができる。  
⇒ **敬語コミュニケーション分析力の向上**につながる。

例) 「よろしければ何かお持ちしましょうか。」

飲み放題の店で、店員が客に追加の飲み物について声かけした(意図: 申し出) ➡ **0レベル** = 「よければ何か持ってきてみましょうか。」  
➡ 店員は客を高くするという人間関係(立場)で**配慮**をしている。「よければ」→「よろしければ」 / 「お[V字形]します」(謙譲語Ⅰの使用)

- 2) 8週継続したことにより、表現する側になった際にも**思考の過程**が応用できる可能性がある。

★活動後アンケート… 「外にいるときに、聞いた敬語を意識して分析した」

「どんな言葉からこの敬語になったかについて知ったから、敬語を使いたいときに、0レベルから考えることができる」

活動のねらい②も期待できる

## 5. まとめと今後の課題

今後の課題 : 授業実践の細かな進め方には改善の余地がある。 例) 各週で扱う敬語フレーズの数の調整など  
有用性への期待 : 敬語コミュニケーション分析力の向上と、表現力の向上につながる可能性

&lt;引用文献&gt;

- 高木美嘉・坂本恵・徳間晴美(2024)「生活場面の敬語を理解するための教材開発—敬語の形・目的・配慮の理解を目指して—」『2024年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp.247-252  
徳間晴美(2025)「待遇コミュニケーションの学びの過程を意識した授業実践」『待遇コミュニケーション研究』22巻, pp.178-195  
福岡昌子(2019)「アクティブ・ラーニングによる敬語指導の実践研究—場面と人間関係を意識した授業を目指して—」『三重大学高等教育研究』26号, pp.27-37